

(様式第 17 号)

平成 3 0 年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金（活動記録）

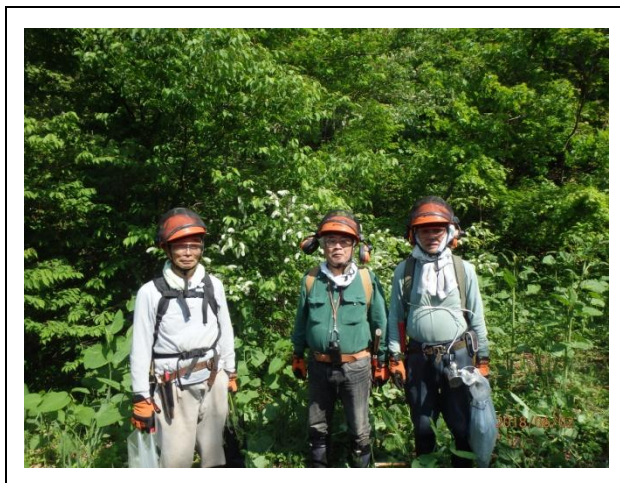
活動実施日時		活動参加人数		タイプ	取組	写真番号	整理番号
実施年月日	実施時間						
	時間帯	実施時間	構成 員	構成 員以 外の 参加 者			
6 月 2 日	8-17	6	4		地域環境保全	雪害などの林班 2-8、2-10 の全山踏査	1
6 月 9 日	8-17	6	6		地域環境保全	寒長根から熊の巣間作業道の整備	2
6 月 30 日	8-17	5	6		地域環境保全	林班 2-8、2-10 標準地周辺の整備	3
7 月 21 日	8-17	5	6		地域環境保全	熊の巣から標準地に至る作業道の整備	4
9 月 2 日	8-17	6	4		地域環境保全	御嶽天沼から標準地に作業道の整備	5
9 月 8 日	8-17	6	6		地域環境保全	四代檜から標準地に至る作業道の整備	6
9 月 22 日	8-17	6	6		地域環境保全	標準地周辺の下刈りと集積処理	7
10 月 20 日	8-17	6	6		地域環境保全	三か所の標準地周辺の整備	8

(別添1)

作業写真整理帳

組織名 金沢諏訪堂の会

写真番号： 1



活動項目を チェックする	① ☐	② ☒	③ ☐
	④ ☐	⑤ ☐	⑥ ☐
取組内容	雪害などの状況を把握するために林班 2-8、2-10 への作業道を踏査した。対象領域の状態を確認し今年度の作業計画を立てる。		

写真番号： 2



活動項目を チェックする	① ☐	② ☒	③ ☐
	④ ☐	⑤ ☐	⑥ ☐
取組内容	寒長根から林班 2-8、2-10 間の作業道の整備を行う。倒木の伐採と撤去。作業道周囲の草刈りと集積処理を施す。		

写真番号： 3



活動項目を チェックする	① ☐	② ☒	③ ☐
	④ ☐	⑤ ☐	⑥ ☐
取組内容	林班 2-8、2-10 標準地周辺を整備する。倒木の伐採と撤去。標準地熊芭蕉とその近辺を下刈り、藪払いを施し集積処理を行う。		

写真番号： 4



活動項目を チェックす る	① ☐	② ☒	③ ☐
	④ ☐	⑤ ☐	⑥ ☐
取組内容	熊の巣から標準地に至る作業道の整備をする。倒木の伐採と撤去と集積処理を施す。		

写真番号： 5



活動項目を チェックす る	① ☐	② ☒	③ ☐
	④ ☐	⑤ ☐	⑥ ☐
取組内容	御嶽天沼から林班 2-8、2-10 に至る作業道の整備。チェーンソー、刈払い機で作業する。		

写真番号： 6



活動項目を チェックす る	① ☐	② ☒	③ ☐
	④ ☐	⑤ ☐	⑥ ☐
取組内容	四代檜から標準地林班 2-8、2-10 に至る作業道の整備。雨の中刈払い機で路の草刈りを行う。		

写真番号： 7



活動項目	① ☐ ② ☒ ③
をチェックする	☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥ ☐
取組内容	林班 2-8、2-10 周辺の下刈りと集積処理。熊芭蕉周辺に対して草刈りと下刈りを施す。

写真番号： 8



活動項目	① ☐ ② ☒ ③
をチェックする	☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥ ☐
取組内容	林班 2-8、2-10 にある三か所の標準地周辺の整備を行う。熊芭蕉、ブナの丘、檜沼である。指標植物が育成できるようにした。

平成30年度 モニタリング結果報告書

1 活動の目標

広葉樹林をきれいにし、希少種あるいは里山の指標種を保護したい

2 活動実施前の標準地の状況（平成29年度）

写真

熊芭蕉湿原

(39° 22' 15"、140° 37' 26")

林班2-8と2-10の境にある岩礫回廊を北に下りると溪谷があり、そこに湿原と沼がある。湿地にはミズバショウとサワグダギが自生している。沼の周辺に下刈りを施し、25m²の標準地とした。ミズバショウとサワフタギを指標とし、環境改善の成果を確かめる。

ミズバショウ 20本、サワフタギ 3本



檜沼

(39° 22' 19"、140° 27' 6")

岩礫三叉路から林班2-8境界沿いに南西に進むとナラの太木がある沼がある。この周囲を代表する典型的な地形と考えられるので下刈りを施し、標準地とした。自生のヤブコウジがある。ヤブコウジとヤマシャクヤクを指標種とした。

ヤブコウジ 2本、ヤマシャクヤク 0本



ブナの丘

(39° 22' 13"、140° 37' 29")

林班2-10の東側境界の中央に小高い丘がある。周囲は360度ブナの二次林である。ブナ林の典型と考えこの地を標準地とした。周囲に下刈りを施した。ここの指標種をヤブコウジとヤマシャクヤクとした。

ヤブコウジ 1本、ヤマシャクヤク 0本



3 活動2年目の標準地の状況（平成30年度）

熊芭蕉湿原

標準地の状況を記載	葦が繁る湿地に戻っていたが、ミズナショウトサワフタギは繁茂していた。
目標達成度	ミズバショウ 25本 サワフタギ 4本
次年度に向けた改善策	周囲を根気強く下刈りと藪払いを施す。

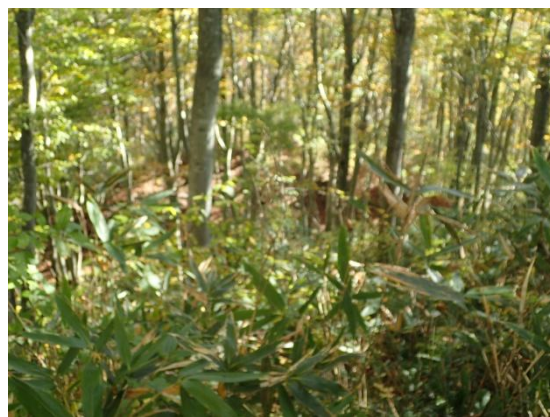
写真



檜沼

標準地の状況を記載	ナラの下なので藪や下草が酷くなく環境は良好。指標をヤマシャクヤクからサワフタギに変更した。
目標達成度	ヤブコウジ 2本 サワフタギ 6本
次年度に向けた改善策	ここを拠点として下刈りの範囲を広げること。

写真



ブナの丘

標準地の状況を記載	ブナ林の林床は良好な環境が続いている。ヤマシャクヤクはまだである。
目標達成度	ヤブコウジ 2本 ヤマシャクヤク 0本
次年度に向けた改善策	ブナ林の環境保全の在り方を学習し実践する必要があると感じている。

写真

